

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 27 年 2 月 19 日 (2015.2.19)

【公開番号】特開 2013-192187 (P2013-192187A)
 【公開日】平成 25 年 9 月 26 日 (2013.9.26)
 【年通号数】公開・登録公報 2013-052
 【出願番号】特願 2012-58878 (P2012-58878)
 【国際特許分類】

H 0 4 N 5/225 (2006.01)

G 0 3 B 17/02 (2006.01)

G 0 3 B 17/38 (2006.01)

【 F I 】

H 0 4 N 5/225 Z

G 0 3 B 17/02

G 0 3 B 17/38 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 26 年 12 月 22 日 (2014.12.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 0 】

以上の課題を解決するため、本発明は、
 撮影レンズを有する第 1 ブロックと、
 前記第 1 ブロックに回転可能に結合され、表示部を有する第 2 ブロックと、
 前記第 1 ブロック及び第 2 ブロックを部分的に覆い、且つ前記第 1 ブロックに回転可能
 に結合される第 3 ブロックと、を備える筐体構造であって、
 前記第 3 ブロックにシャッターキーを設けたことを特徴とする。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

撮影レンズを有する第 1 ブロックと、
 前記第 1 ブロックに回転可能に結合され、表示部を有する第 2 ブロックと、
 前記第 1 ブロック及び第 2 ブロックを部分的に覆い、且つ前記第 1 ブロックに回転可能
 に結合される第 3 ブロックと、を備える筐体構造であって、
 前記第 3 ブロックにシャッターキーを設けたことを特徴とする筐体構造。

【請求項 2】

前記第 2 ブロックに前記シャッターキーを設けたことを特徴とする請求項 1 に記載の筐
 体構造。

【請求項 3】

前記第 2 ブロックの前記表示部が配置されている面であって、当該表示部に隣接した位
 置に前記シャッターキーを設けるとともに、

前記第 3 ブロックの外周に前記シャッターキーを設けたことを特徴とする請求項 2 に記

載の筐体構造。

【請求項 4】

前記第 1 ブロックと第 3 ブロックとを回転可能に結合するヒンジ軸に、前記第 3 ブロック外周の前記シャッターキーに電力を供給するための電氣的接続部材を通したことを特徴とする請求項 3 に記載の筐体構造。

【請求項 5】

前記電氣的接続部材はリード線であることを特徴とする請求項 4 に記載の筐体構造。

【請求項 6】

前記電氣的接続部材はスプリングピンであることを特徴とする請求項 4 に記載の筐体構造。

【請求項 7】

前記第 3 ブロック内に、前記シャッターキーと前記電氣的接続部材とを電氣的接続するフレキシブル基板を配置したことを特徴とする請求項 4 から 6 のいずれか一項に記載の筐体構造。

【請求項 8】

前記第 3 ブロック内に金属フレームを設け、

前記第 3 ブロック外周の前記シャッターキーのグランド信号線を前記金属フレームに接続したことを特徴とする請求項 4 から 7 のいずれか一項に記載の筐体構造。

【請求項 9】

前記第 3 ブロックの外周の両側に前記シャッターキーを設けるとともに、

前記表示部が縦の使用状態か横の使用状態かを検出する縦横センサを設け、

前記縦横センサによる前記表示部が、横の使用状態の検出時に前記両側のシャッターキーの一方のみを有効にして他方を無効にし、縦の使用状態の検出時に前記両側のシャッターキーの両方を有効にする制御回路を備えることを特徴とする請求項 3 から 8 のいずれか一項に記載の筐体構造。

【請求項 10】

請求項 1 から 9 のいずれか一項に記載の筐体構造を備えることを特徴とする電子機器。